

# 蒼星の瞬き



真紅はいつも  
落ち着いている

自分をよく知っている  
洗練された思考の持ち主

雛莓はいつも  
楽しそう

周りを明るく照らす  
屈託無い笑顔の  
持ち主

僕は…

僕には… 何が？

翠星石は口を開けば  
文句が出ることが多いけれど  
でもそれは心配性で世話焼きな  
相手を思う心の持ち主だから

僕にも  
僕だけの存在理由が

あるのだろうか？



あいかわらず  
色気ないわねえ



うん 姉妹の中で  
一番乙女らしくないよね

それはあの日  
目覚めた時から察していたよ

乙女としても薄へ

個我も掴めず



僕は…



# アリス

アリスは  
お父様にとっての  
絶対的存在！

アリスになれば

思ふ存じじや

…無くなる！

お父様の求める  
アリスになれば

僕もそのじや...

ア  
リスに  
なり

ア  
リスに  
なり

ア  
リスに  
なり

ア  
リスに  
なり



このチビ人間！  
もう知らんですっ！！

へっぼこ  
ぼこのすけー！

くらいやがれ  
ですっ！

いてっ！！

勝手にしやがれ  
ですうっ！！

ごめんね  
ジュン君…

おまえが謝ること  
ないだろ

え…うん  
でも…

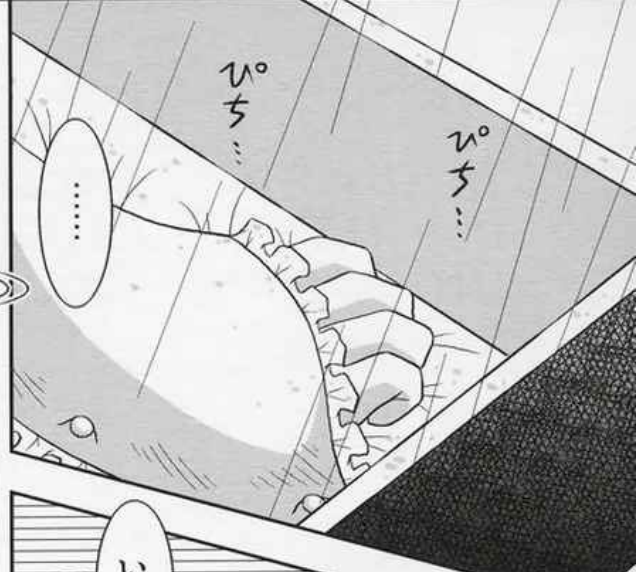
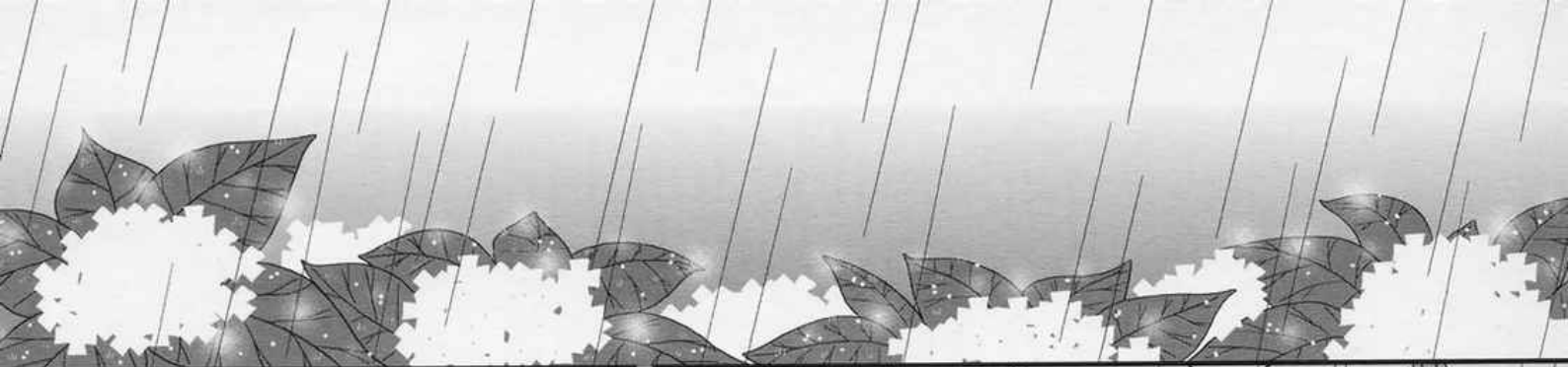
ふ

ってええ…

あの性悪人形め

いいよ  
いつものことさ

どーせ  
夕飯の時間には  
ころっと機嫌直して  
雛母からかってんだ

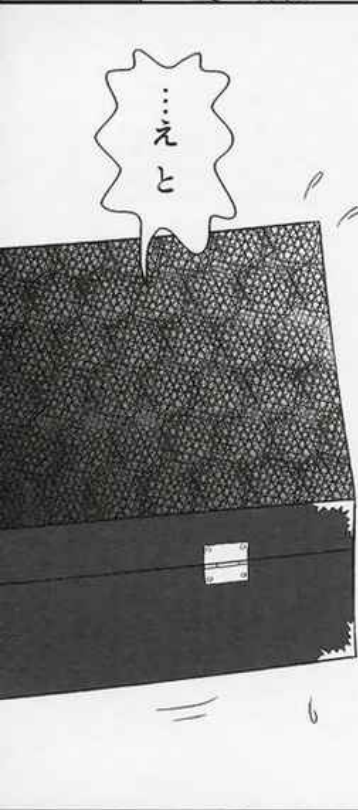




そんな曲芸じみた飛び方せんでもさ…

カバン閉じたら…

カバンごと飛ぶよ…



ジュンくんは傘をさしていても少しは濡れちゃうのに…



自分だけ雨から逃れることになっちゃう…



お前って何かへんなどころで一生懸命だよな〜

ほれ





こっちはよ



大丈夫  
真紅で慣れてる



お前も傘の下に入れば  
問題解決だろ？



いいの かな～

でも...





け…けっこう恥ずかしい  
なあこの座り方…



…ここは真紅の  
特等席なんだよね

…



真紅は特に何も  
思っていないの  
かな…?

ちろ…



はっあ!?



それにその…

おしり  
当たっちゃってるし…

ふに  
ふに…

どうかしたか？

うううん！  
別に…

沈黙が  
痛い

ななんか喋らなきゃ…

でもジュン君は

静かなのが好きなんだよね

でも喋らなかつたら  
僕が無視しているように  
思われちゃうかも…

あ…  
あのねっ

もっ…

そ… 翠星石はウチでは  
おばあさんのお手伝いを  
沢山やってくれるんだ

へー

ででね  
翠星石はほうじ茶を  
入れるのが上手なんだ

紅茶じゃないんだ

おじいさんが  
ほうじ茶を好きなんだ  
だから翠星石は…

よかった…  
ジュン君うるさくは  
感じてないみたい

なあ…

お前もアリスってのを  
目指しているんだよな？

おまえ  
もっと肩の力  
抜いてもいいんじゃないか？

……え？

僕にはアリスゲームってのが  
どんなに大変で辛いものかお前たち  
程には分かってないとは思うけどさ

……でも

僕はアリスに  
なれなかったら……

僕は……

存在理由が無くなる  
とか言うつもりか？

あ当たり前だよ！  
それが僕たち薔薇乙女の  
生まれた理由なんだから

生まれた理由……か

少なくとも  
毎日が戦場ってわけじゃ  
ないんだろ？

?

関係ない僕が  
こんなこと言うのも  
勝手かもしれないけどさ

お父様は  
アリスになれなかった  
娘たちにも

なにかのカタチで  
幸せを残してくれるんじゃないかな…？

じゃなきゃ  
お前みたいない子  
作らないと思うぞ

…  
良い子？

あー  
良い子  
良い子

人を奴隷みたくこきつかったり

すぐ部屋をちらかしたり楽描きしたり

口を開けばキーキー文句言っただけだった

ホラー映画のような登場してビビらせたり

そんなやつらに比べれば  
全然マシだろ おまえは

まあ、他のやつらにも  
それなりにはいいところも  
あったりなかったりは…

クス…

シアワヤ  
か…

そうか：アリスになることだけを  
考えていたから僕は現在を  
置いてけぼりにしていたんだ…



皆はとっくに気が付いていたんだね  
「存在を楽しむ」ということを

大切なのはアリスになることではなく  
アリスになるまでの道

アリスまでの道は  
戦いの繰り返しだけじゃない

楽しんで

存在理由を  
残す…

：僕もようやく  
姉妹と同じように  
たどってきたのかな

ちょ…  
泣いてるのか？



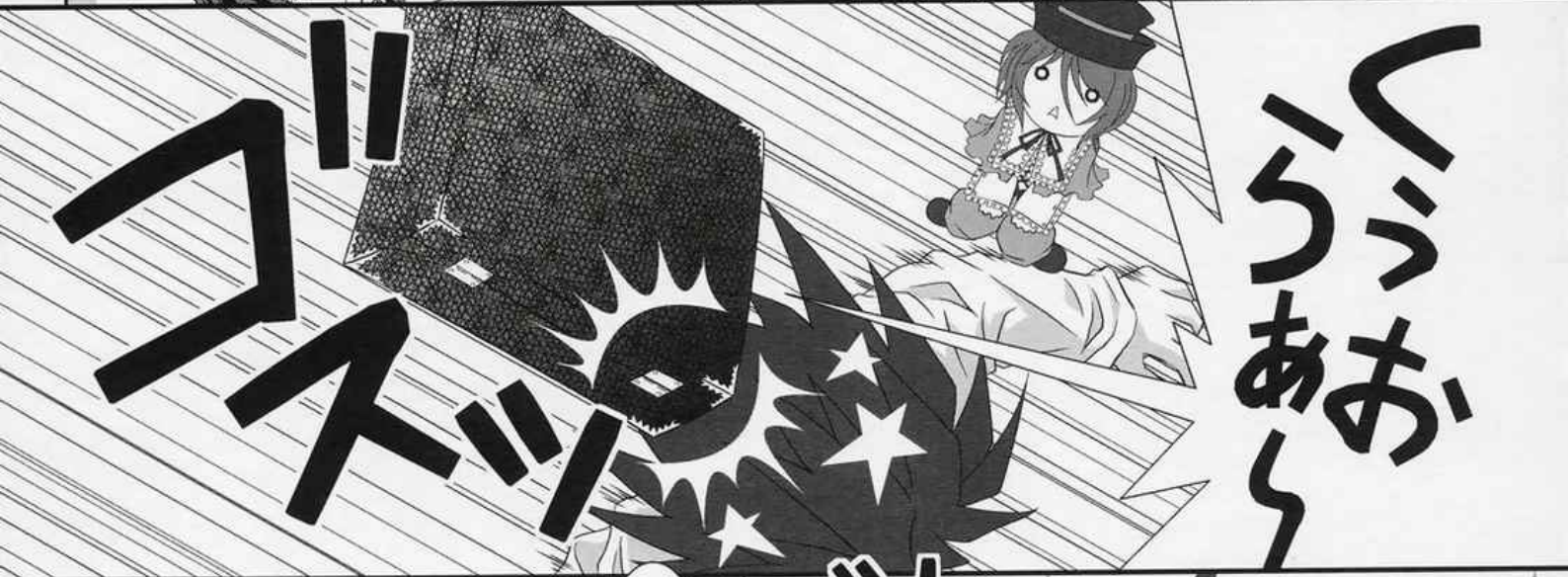
ちちが…っ

…ごごめん  
なんかキツイこと  
言っちゃったか？



ううん…

雨だよ



く  
ら  
う  
あ  
あ  
く



ふ あ

いいんだよ  
翠星石



ぶん  
ぶん

よくも可愛い妹を  
泣かしてくれやがった  
ですねえっ!!

気になって  
戻ってきてみたら



僕はもう  
大丈夫だから…



ゴ  
ゴ  
ゴ  
ゴ  
ゴ

今日という日を  
忘れられなくして  
やるですう  
血の制裁を  
くらいやがれですう

チビ人間も  
そこまで堕ちた  
ですかあ

そそうですかあ？  
まあ蒼星石がなんともないと  
言うのでしたら

私は何も  
怒らないですよお？

でもここにいと  
またそのチビインゲンに  
いびられるですよ！

私達は先に  
帰るです！



行くですよ  
蒼星石！

行けよ構わないから

うん…  
ごめんねジュン君

また謝る

それと…

ありがとう

ピュ

あ  
待ってよ  
翠星石





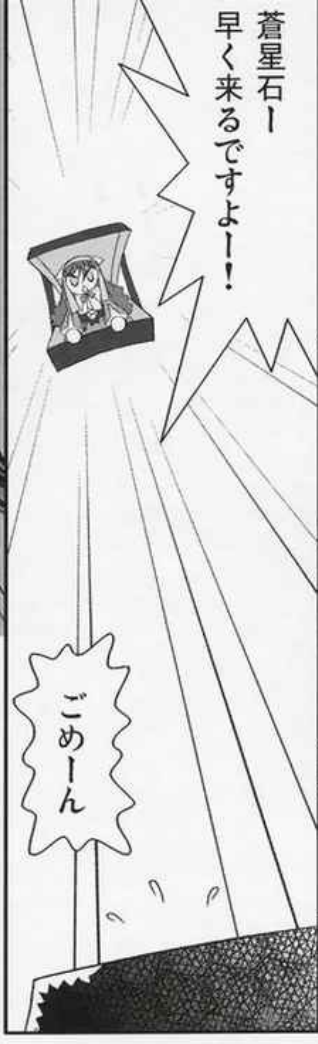
まさか蒼星石が  
チビ人間にキキ  
キィ…スウウ!?

みみみみ  
見たですよお



でも…  
今までの蒼星石には  
考えられなかった  
ことです

おまたせ



蒼星石ー  
早く来るですよー!!

ごめーん



じゃ…  
じゃあお先に



あ…  
雨やんだ

とっとと帰って  
チビ人間の花丸ハンバーグに  
タバスコたっぷり  
仕込んでやるですよーっ!

きこえてるぞー  
性悪人形!!



チビ人間のおかげか  
知らんですが  
蒼星石も  
可愛くなった  
ものですね…

?

ホッ



でも気分は  
チョームカ  
ですよ!!  
よりによって  
チビ人間にいいい

Fin.



タイトル 蒼星の瞬き  
発行日 2006.4.23 サンシャインクリエイション31  
発行 光と魔法工房 (Mぽん)  
印刷 ねこのしっぽ様  
HP <http://www.mpon.info/>  
mail [mpon@mpon.info](mailto:mpon@mpon.info)

～ あとがき ～

こんにちは or はじめまして  
Mぽんと申します  
今回はこの本を手にとって頂きましてありがとうございました

今回のお話はアニメローゼンメイデントロイメント第4話の  
雨の中ジュンくんが蒼星石を腕抱っこのシーンに触発されたのがきっかけでした  
あのシーンはまったくの想定外でしたので  
アニメスタッフグッジョブ！と心の中で叫んでしまったくらいです

原作でもアニメでも、蒼星石の生き方はなにか堅苦しさを感じて  
彼女にももっと人生(というか人形生?)を謳歌して欲しいと  
今回のお話を考えたわけですが  
まあそういうお堅い蒼星石だからこそ  
好きだったりもします

それではここまで読んで頂きまして  
ありがとうございました  
蒼星石LOVEで  
描き上げました一冊です  
少しでも楽しんで頂けまし  
たら幸いです

それではまた次の本にて…

Mぽん



Presented By M\_pon / Hikarito Mahou Koubou 2006 Spring

# 光と魔法工房

<http://www.mpon.info/>

